

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
令和2年度第1回契約監視委員会審議概要

令和2年度第1回契約監視委員会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審査により実施することとした。

1 実施期間

令和2年6月5日（金）から6月19日（金）までの間

2 委員（敬称略）

委員長 清水 幹裕（弁護士）

委員 宮本 和之（公認会計士）

委員 小林 順治（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

3 議 題

（1）令和元年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検

（2）令和2年度調達等合理化計画の策定に関する点検

4 審議概要

（1）令和元年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検

点検の結果、資料の内容については適当であるものと認められた。

なお、委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆検査方法の見直し

- ・令和元年度における『検査マニュアル別紙（契約部門用）』の作成や各契約部門への説明は、とても大切なことであると考え、これらの取組の成果についても検討すること。

（2）令和2年度調達等合理化計画の策定に関する点検

点検の結果、資料の内容については適当であるものと認められた。

なお、委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆一者応札・応募の改善

- ・令和元年度の一者応札・応募の契約件数が平成30年度と比較して増加した結果を踏まえれば、より実効性のある体制を継続して検討いただきたい。

◆随意契約に関する内部統制の確立

- ・令和元年度の競争性のない随意契約が平成30年度と比較して減少していない結果を踏まえれば、より実効性のある体制を継続して検討いただきたい。

◆契約マニュアルの充実

- ・随時検討を怠らないようにすること。